

産業 建設 厚生

常任委員会

ふるさと納税 目標10億円へ



委員長 本 哲也
おくと 本 哲也

今回、本委員会に付託された8議案は審査の結果、全て原案のとおり全会一致で可決すべきものとなった。

令和2年度 一般会計補正予算

ふるさと納税

1億円

11月末現在、6億2千万円の実績額。10億円を目指す謝礼の追加分。

この時期からは町産柑橘類に期待をかけている。



衛生費・備品購入

300万円

感染症対策備品として、非接触式検知システムの体表面温度監視カメラ計5台購入。本庁に3台、佐賀支所1台、拳ノ川診療所1台設置。



体表面温度監視カメラの一例

商工費・補助金

1千万円

新型コロナウイルス感染症を防ぐため、町内事業者に対してマスクや消毒液などの消耗品購入費用1件あたり5万円、総額200万円。

さらにエアコンや空気清浄機などの設備費、40件分上限20万円、総額800万円でいずれも3分の2の補助。好評で予算が不足した場合は、早急に対応していく。

観光費・補助交付金

1936万円

最近人気のグランピングをターゲットに、トラレーザハウス3棟設置。県補助が3分の2、町補助が6分の1で387万円、自己負担額も同率6分の1で387万円。ネスト・ウエストガーデン土佐が設置予定。

*グランピングとは

自然に囲まれたロケーションの中に、贅沢で快適な宿泊設備を用意して野営すること。

条例の制定

特別会計補正

新品種新品目選考委員会設置条例

高知県内で、今まで栽培していない品種、品目に挑戦することを支援。認定されれば、3年間の補助金を受けることができる。メンバーはJAを中心に6人以内をもって組織し、町長が委嘱する。

令和3年度からの介護報酬会計に対応したシステム改修によるもの。

介護保険事業特別会計

320万円



花き栽培ハウス